

□■受験対策ミニ講座 2号 2020□■（養成所ニュースプラス第8号）

朝夕は秋めいて、過ごしやすい季節になりました。2年生は本格的な試験準備に入る時期です。5学期のレポートを提出してホッとしている方、早々にリセットして“初めの一步”を踏み出しましょう。

「アスリートである前に一人の黒人女性」…父がハイチ共和国出身のアメリカ人、母が日本人…グローバルな時代を象徴するかのようなプロ・テニスの大坂なおみ選手の発言や行動に注目が集まりました。感動が冷めないうちに、今回は「ソーシャルワークのグローバル定義」について考えましょう。科目は「相談援助の基盤と専門職」です。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【問題2】IFSW 国際ソーシャルワーカー連盟によるソーシャルワークの定義について正しいものはどれか。

1. IFSW は国連機関である。
2. IFSW は 2000 年の定義を改定する形で 2014 年に「グローバル定義」を発表した。
3. 「グローバル定義」は多様性を尊重し、地域・民族固有の知を尊重する。(29 回 92-5・28 回 92-3)
4. 「グローバル定義」は各国および世界の各地域で展開しても良い。(31 回 92-1)
5. 「グローバル定義」の「注釈」では、ソーシャルワーク実践の優先課題は国や時代によって多様であると述べている。

答えと解説は最後に記載してあります。

■Plus Column・・・・・・・・

【私たちの IFSW】

International Federation of Social Workers 国際ソーシャルワーカー連盟は、欧米のワーカーたちの無給の活動によって始まりました。1967 年には第 1 回アジア太平洋地域会議、1970 年代にはナイロビで世界会議が開かれるなど、活動は世界各地に広がっています。国連でのロビー活動などを通して「子どもの権利条約」に関わり、人権問題や核軍縮と非暴力的な紛争解決を訴えるなどの活動を展開していきます。1995 年には「社会開発のための世界サミット」や国連の「第 4 回世界女性会議」に関わるなど、ソーシャルワーク専門職団体としての地位を高めていきます。それに伴って加盟国も増加し、現在はジュネーブに事務局を構える国際的な団体として、国連経済社会理事会の諮問機関となっています。

IFSW は 2000 年の大会で「ソーシャルワークの定義」を発表しましたが、これに対してアジア、アフリカの新興国から、「西欧中心でマクロな視点に欠ける」などの声があがりました。そして「ソーシャルワーク」の名によるナチス体制下の活動の反省、オーストラリアで先住民の子どもを白人家庭に里親委託してきたことへの反省が強く求められるなどのことを経て、2014 年の大会では 2000 年定義を改訂する形で「グローバル定義」が採択されました。

「グローバル定義」には、脱西欧中心、先住民族の尊重、多様な視点の導入、集団的責任、国や地域レベルでの展開など、たくさんの論点があり、現在も論議が続けられています。私たちも一人のソーシャルワーカーとして、この議論に積極的に参加していきましょう！

■Back Number・・・・・・・・

過去のバックナンバーはこちら→[http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page\\_id=2686](http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686)

【Plus Quiz・・・・・・・・答えと解説】

ソーシャルワークの定義は様々な個人や団体が行っていますが、国家試験には IFSW の「グローバル定義」が【問題 92】に連続出題されています。まず IFSW がどんな団体かを押さえ、2000 年と 2014 年の定義を比較すると世界のソーシャルワーカーたちが何を論議してきたのかがわかります。

1. ×IFSW は国連機関ではなく、世界のソーシャルワーカーが作っている団体で日本社会福祉士会も加盟しています。個人でも会員になれます。

2. ○2014年新定義は「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」と称されます。
3. ○西欧中心、近代主義を見直し、過小評価されてきた地域・民族固有の知を重視しています。
4. ○絶対不変のものではないとされています。
5. ○定義の本文だけでなく「注釈」も含めて出題されます。必ず読みましょう。

※「グローバル定義と注釈」は『受講の手引き』に全文を収録しています。さらに詳しく知りたい方は『ソーシャルワーク研究 41-2-162』相川書房 などを確認してください。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus